

エスフリー(自由勾配側溝) 施工要領書

※ 用意していただくもの

シャックル、ワイヤーΦ12mm以上(長さ1.5m以上で同じ長さのもの) 4本



①アイボルトを使用し、下部本体を4点で吊り上げます。

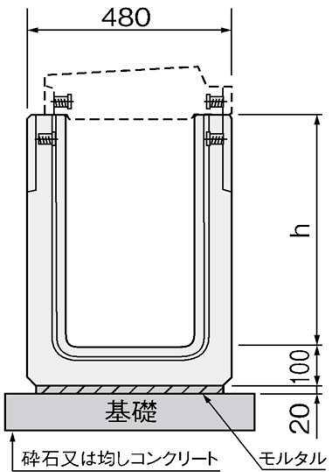
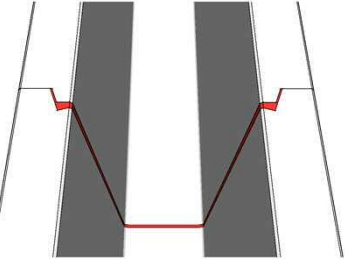
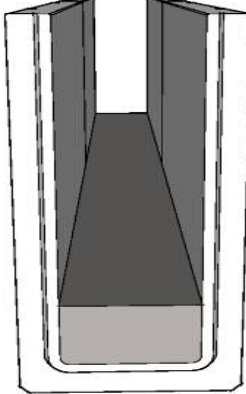
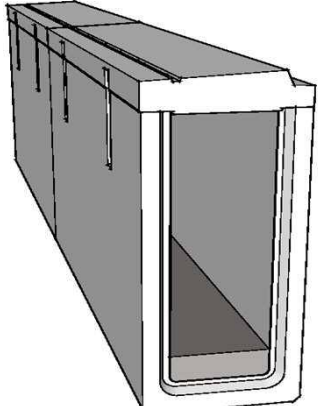
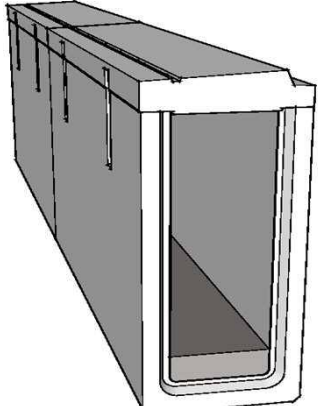


②アイボルトを使用し、上部上蓋を4点で吊り上げます。



③上蓋と本体をセットし、付属の連結プレートで4箇所を固定します。

エスフリー(自由勾配側溝)施工要領書

<p>1) 基礎</p> <p>i) 基礎は、右図を参考に、所定の寸法、高さで施工して下さい。</p>	
<p>2) 本体設置</p> <p>i) 基礎の上面に、20mmでモルタルを敷いてください。</p> <p>ii) モルタルの上に本体を、高さ、位置を調節して設置してください。</p>	
<p>3) 目地処理(下部部材)</p> <p>i) 本体の設置が完了したのち、接続部の目地部分にモルタルを詰めて下さい。</p>	
<p>4) インバートコンクリート打設</p> <p>i) インバートコンクリートの打設を行って下さい。 (注意) インバートコンクリート打設の際に、本体天端部に生コンが付着しないように注意して打設して下さい。</p> <p>もしも、生コンが天端部に付いた時は、速やかに天端部の生コンを取り除き、天端部を綺麗にして下さい。</p>	
<p>5) 蓋(上部部材)設置</p> <p>i) 本体天端部にゴミ等が無いように、清掃して下さい。</p> <p>ii) 蓋をアイボルト4個用いて吊り上げ、本体の端部に合わせて、布設して下さい。</p> <p>iii) 緊結金具を用いて、蓋と本体を緊結して下さい。</p> <p>注意) 蓋の布設は、必ず、埋め戻し前に行ってください。</p>	

可変曲線部用製品のシール方法について

曲線部用の製品には、オスメスジョイントが有りませんので、下記のようにシール材(オプシーラー)による止水対策をお願い致します。

シール材 1ヶ所当たりの必要数

下部製品のサイズ	1ヶ所当たりの必要数(本) (上蓋分を含む)
h = 300	1.5
h = 400	2
h = 500	2
h = 600	2.5
h = 700	2.5
h = 800	3
h = 900	3
h = 1000	3

シール方法



① 接合する製品の片側端面にシール材を貼り付ける準備をします。

② シール材を貼付ける部分のコンクリートの水分やホコリをウエスでふき取ります。

③ シール材の剥離紙を剥がし両面テープを露出させて下さい。



④ 上蓋及び本体(下部部材)の断面中央部にそれぞれシール材を貼り付けて下さい。
(1ヶ所当たり上表のシール材が必要です)